



令和 5 年 3 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

「きぼう」と「希望」

園長 高橋 章子

地球を回る国際宇宙ステーション（ISS）のお話から、

この ISS は、現在日本人宇宙飛行士の「若田光一さん」が 2022 年 10 月 7 日から約半年間の長期滞在に入っている宇宙船のことです。

ISS は、地上約 400 km 上空を飛ぶ有人実験施設です。サッカーのコート程度の大きさの建物で、地球を 1 周約 90 分で回っています。そして宇宙を飛びながら、様々な実験研究が行われています。ISS 内にある日本実験棟は、「きぼう」と名付けられ、ここから様々な「希望」が生まれているそうです。

例えば、地球を観測することで、環境変動を予測し、災害の監視や災害に強い作物の栽培の実験や健康な長寿社会を支えるための医薬品の開発に繋がる実験など、様々な分野の実験が繰り広げられています。人間の「希望」を携えて地球の未来を創っているのですね。

この ISS は、私たちの住む東京の空からも見ることができます。3 月では、8 日(水)am5:18、10 日(金)am5:18 の 2 回が杉並の空からよく見えるようです。少々早起きが必要ですが、空を眺めて見つけてみませんか？子どもたちが、修了・進級していくこの時期に、多くの「希望」を携えて飛ぶ ISS の「きぼう」に手を振ってみたいと思いました。そして、この地上で、たくさんの「希望」をもって修了する子どもたちにも、未来の「希望」に期待し、手を振って送り出したいと思います。みんなのような大人になっていくのでしょうか。楽しみではありませんか！

物と向き合っていく仕事を選ぶ子、人と関わる仕事を選ぶ子、きっと夢はそれぞれでしょう。「希望」をもち続け未来に期待し、生きることを存分に楽しむ子どもに育ってほしい。その力が、大人になって、社会の力になっていくと信じています。社会が不安定な状況にあっても、子どもたちにはいつも大きくなることは素敵なこと。平和な社会を創っていくのは君たちなんだ。と伝えていきたいです。その土台を私たち大人が日々努力して創っていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、この一年間本園の教育に多くのご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

一月実施の「教育調査」の結果を園だよりと一緒に添付しました。ご覧ください。No.11・12 の設問にある、「地域と共に在る子供園」については、今後感染症の状況も変化し、地域との共同もきっと良い方向に変化していくと期待します。

三学期も残り少なくなりました。残りの毎日を、子どもたちと大切に過ごして参ります。



お知らせ

① ぱんだ組ミニミニコンサート・保護者会

1日（水）

時間：9時15分～10時30分頃の予定

◇ミニミニコンサート（各家庭2名迄）・保護者会（各家庭1名）

の参加となります。※感染症の状況によって、変更します。

◇9時までに登園し、保護者の方は玄関からホールにお入りください。

◇うわばき・外靴を入れる袋をお持ちください。

② ひなまつり

3日（金）

各学級で子どもたちが作成した素敵なお雛様を飾って楽しめます。

今年は、弁当の時間にひなあられをいただきます。

❖お雛様の主な由来

子どもたちが健康に育つように、雛人形たちが災いや病を吸い取り、子どもたちの身代わりになってくれるように飾ります。

お供えをするひなあられには3つの色があり、新しい春を意味し、白は雪、黄緑は新芽、ピンク色は春の花を示しています。それらの意味を子どもたちにも伝えていきましょう。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お茶会は中止とします。

❖ひな人形展示と持ち帰りについて

当日は保護者の展示見学はありませんが、持ち帰り後に各ご家庭に飾って、親子でお楽しみください。

③ おわかれ会

9日（木）

4月から1年生になるきりん組とは、3月の修了式でお別れです。

その前に、今まで、子供園で楽しかったことや、ともに過ごした感謝の気持ちを込めた会を、ぱんだ組が中心となり子どもたちのみで行います。

④ 作品袋渡し

きりん組9日（木）

うさぎ組・ぱんだ組22日（水）

子どもたちが、4月から子供園でかいたり作ったりした作品を取りまとめて保護者の皆様にお渡しします。ぜひご家庭で、お子さんからの話を聞きながらご覧ください。

⑤ 修了式

20日（月）

きりん組がいよいよ修了式を迎えます。ぱんだ組が在園児を代表して参列し、うさぎ組の参列はありませんが、みなでお祝いの気持ちを込めて当日を迎えましょう。修了児きりん組は、登園時間が9時30分となります。当日についての詳細は学級保護者会で配布した手紙を再度ご覧ください。

きりん組の門出送りは、在園児のみで行います。

⑥ 終業式

23日（木）

うさぎ組・ぱんだ組が、今年度の全員保育終わりの節目である、終業式を行います。

⑦ きりん組プラネタリウム鑑賞

28日（火）

大宮小学校の体育館をお借りして、きりん組がプラネタリウムのプログラム（済美教育センター編集・上演）を鑑賞します。

※詳細は、保護者会でお知らせした通りです。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

劇ごっこでは、自分で作ったお面を身に着けて動物になりきって動くことを繰り返し楽しんできました。劇ごっこの時間だけでなく、好きな遊びのなかでも積木でバスを作ったり、動物になりきって遊んだりしている姿があります。

また、自分で選ぶ遊びの時間では「〇〇を作りたい」と子どもたちなりに思いが出てくるようになってきました。ままごとや製作では、周りの友達が作っているものや遊んでいるところをよく見ていて、友達と繋がって遊ぶ楽しさを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 気の合った友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いや考えを伝えようとする。
- 園生活の流れの中で気付いたことや自分でできることを、自分からすすんでしようとする。
- もうすぐぱんだ組になることを楽しみにする。

もうすぐぱんだ組になることを、とても楽しみにしているうさぎ組の子どもたち。大きくなった嬉しさや出来るようになったことを認めていきながら、期待感をもって進級できるようにしていきます。

ぱんだ組

チューリップの芽が土から顔を出し、春を感じ始めたぱんだ組。お弁当のテーブルを拭く・お茶当番でグループの友達にお茶をつぐ・「いただきます」の挨拶をする等の当番活動は、「自分たちのことは、自分たちでするんだ」とどの子も張り切っています。また、3月は年長組とのお別れ会に向けても準備を進め、お別れを惜しみながらも、進級することを楽しみにして活動を進めています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の考えを伝えたり、友達の言葉を聞こうとしたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 年長きりん組に進級する喜びや期待感をもち、いろいろな活動に喜んで取り組む。

きりん組に進級することを楽しみにしている一方で、新しい生活に不安を感じる気持ちもあるかと思います。期待感をもって進級できることを願って、一人一人の気持ちを受け止めたり、自分でできることを増やして自信につなげていったりしていきます。

きりん組

園生活も残り14日となりました。修了式や修了製作に向けての取り組みで、「お別れするの寂しいね」「〇〇するのが楽しかったよね」と子どもたちが話しているのをよく聞くようになりました。

今月はいよいよ修了式を迎えます。修了に向かう活動で、自分の力を発揮し、友達と一緒にやり遂げた満足感や成長の喜びを十分に味わえるようにしていきます。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- 学級の人々と園生活を楽しみ、自分たちで生活や遊びを進めていく充実感を味わう。
- 就学への喜びや期待感をもち、すすんで行動しようとする。

この1年いろいろな活動や行事に、きりん組の仲間と一緒に取り組んできました。「子供園楽しかった!!」という気持ちをもち、巣立っていけるようにしていきます。保護者の皆様も残り僅かな園生活をお子さんと一緒に楽しんでください。

